

## 白神 優理子さん

しんぶん赤旗

わたしの読み方



昔は切り抜き

私の「赤旗」の読み方は、読み始めた当時と今ではだいぶ変わりました。振り返ると面白いです。

高校生平和ゼミナールで戦争を体験した方のお話を聞き、「憲法」を学ぶことで「弁護士になりたい」と将来の夢を見つけました。その頃から新聞を真面目に読むようになりました。「命がけで戦争になりました。反対した共産党の新聞だ！」



## 国滅ぼす岸田政権と対決

5年間で43兆円の大軍拡をやつたら国が滅びますよ。福祉・医療・教育・国民生活のための予算を切り刻まないとできません。岸田大軍拡に正面から対決する共産党が伸びることは、政治を変える力になります。

記事7面



## 「新しい戦前」にさせない

岸田首相は、アメリカと一緒に戦争する方向へどんどん動いている。この動きに共産党は、しっかりと地に足の着いた分析で、問題を追及しています。軍拡路線と対決する一貫した姿勢で、心強いものを感じます。

記事7面

この紙面は「しんぶん赤旗」の切り抜き記事です。

## 何もかも連関

米国で中堅のシリコバレー銀行とシケネチャーベン銀行が立て続けに経営破綻しました。その後すぐに、スイスでその直後に、スイスで金融大手のクレディ・スイスが経営不振で同業最大手に買収されることになりました。1997年のアジア通貨危機や2007年のサブプライム住宅ローン危機を思い出します。

いまの政府は戦争の準備ばかりに力を入れている。過去の戦争への反省はどこに行つたのか。「安保3文書」を国会で正面から批判しているのは共産党です。「新しい戦前」にないために、統一地方選での躍進に期待します。

記事7面



分析力・追及力・頼もしい

エコノミスト  
同志社大学教授

浜 知子

岸田首相は、アメリカと一緒に戦争する方向へどんどん動いている。この動きに共産党は、しっかりと地に足の着いた分析で、問題を追及しています。軍拡路線と対決する一貫した姿勢で、心強いものを感じます。

## 政治を可視化してくれる

共産党には、政治でいま何が起きているのかを可視化してくれる議員がたくさんいます。自民党などはそんな共産党を恐れて攻撃するのでしょうか。大軍拡・大増税をやめさせ暮らしを守るために、共産党議員に増えてほしい。

記事6面



同志社大学教授  
岡野 八代

岸田首相は、アメリカと一緒に戦争する方向へどんどん動いている。この動きに共産党は、しっかりと地に足の着いた分析で、問題を追及しています。軍拡路線と対決する一貫した姿勢で、心強いものを感じます。

記事6面

て、「明らかに金融の安定に対するリスクが高まっている」と警告しました。また、「2023年は再び困難な年になると予想している」と述べました。

「敵基地攻撃」憲法違反



無理押しをしているのがバレてきた！

白川ただし

特に私が「赤旗」を読むときには電子版が中心になつていています。出張や移動が多いときに貼り、隣のページに内容の要約や感想を記載していました。知識や論理の力がついた。高校の授業や平和活動の場でのディスカッション、大

題から出発して、原因を的確に分析し、解決のための展望を示しているかがよくわかりました。玉虫色の気持ち悪さがなくて、本当に解決していくという意気込みが伝わった。さて、今の私の「赤旗」の読み方を真っ先に読み始めます。

高校に行く電車の中で読みます。それでも役立ったのでお勧めです！他紙と比べて「主張」「社説」や気にならぬこと

が、現実に困っている人の間で、どうぞお読みください。

さて、今の私の「赤旗」の読み方を真っ先に読み始めます。

高校に行く電車の中で読みます。それでも役立ったのでお勧めです！他紙と比べ